

【別紙】 令和4年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立飯仲小学校)

(A4判横)

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

学校教育目標	知・徳・体の調和がとれ、自ら学ぶ、人間性豊かな児童の育成
目指す学校像	笑顔いっぱい 学びいっぱい ひたむきな姿が広がる飯仲小学校 ～見つめる目・感じる心・ひたむきな姿～

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	9名
事務局 (教職員)	3名

学校自己評価						
領域	年度重点目標			年度評価 (令和5年2月10日 現在)		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度 次年度への課題と改善策	
組織運営	<p>○教職員の入れ替わりに、協働し能動的に行動できる自立した集団組織へと再構築していく必要がある。</p> <p>□教職員の自由裁量の時間を生み出し、働き方改革を進めなければならない。</p>	<p>○言葉を大切に、全教職員で学校の諸課題に対応し、児童の自己肯定感を高める。</p> <p>□働き方改革を進め、教職員の時間外在校時間を削減する。</p>	<p>○学年の特性をとらえた学年経営を推進。副担任としての担任外教員の関わりを重視し、学年会等で、情報共有、指導方向の統一を確実に行う。言葉を大切にすることと学年対応を徹底する。</p> <p>□業務改善スタンダードの推進及び、新たな業務改善策を検討し、保護者・地域の理解を得る。</p>	<p>○課題を共有し、学年を基本とした対応ができた。さらに学年枠を超え、養護教諭や担任外教諭も関わり解決を図った。励ましや称賛、挨拶などの温かい言葉を通じた指導を意識し、児童の自己肯定感は上向きの兆し。</p> <p>□時間外在校時間は月80時間超ゼロ、45時間超は8%減。健康観察アプリの導入等、可能な業務改善を新たに検討・導入した。</p>	B	<p>○教職員の多様な考えを尊重しつつ、学校として同一方向に向かい協働性を発揮する組織集団をつくること。主任の育成。学年ごとの課題と目標を明確にして具体的な取り組みを継続し、引き続き児童の自己肯定感を高める。</p> <p>□教職員の時間を生み出す実感の伴った業務改善。保護者地域の理解を得て、慣例の見直しを図る。</p>
教育課程	<p>○すべての児童が正しくICTを活用できるようにすると共に、誰一人取り残さない学びを進めていく必要がある。</p>	<p>○積極的な生徒指導と誰一人取り残さない学びを進め、授業が分かる・学校が楽しいを実現する。</p>	<p>○全学年でTT、少人数指導を実施する。朝学習には全教員が関わり、個別支援を行う。タブレット、学習アプリを日常的に活用する。特別活動を充実させ、児童主体の創意工夫ある集会を実施。児童アンケートの結果は「授業が分かる」91%、「学校が楽しい」は8</p>	<p>○課題の未然防止と解決について検討し日常的なICTの活用を図りながら「みんなで生徒指導」を実践した。TT、少人数指導を通じた複数教員による見守りと学習支援及び、児童主体の創意工夫ある集会を実施。児童アンケートの結果は「授業が分かる」91%、「学校が楽しい」は8</p>	B	<p>○様々な配慮を要する児童へ確実に学びを保障していくこと、及び、教職員の負担を軽減し指導を充実させていくことが課題となる。多くの声を集め、日課表等の教育計画を見直ししていく。</p>
開かれた学校づくり	<p>○コロナ禍3年目における、保護者・地域との顔が見える関係づくりを行い、理解と協力を得て70周年の教育活動を進めなければならない。</p>	<p>○保護者・地域の理解と協力を得て、共に歩む70年目の飯仲小をつくる。</p>	<p>○学校運営協議会委員と教職員との懇談を1学期に実施する。コロナ状況を鑑みながら、保護者が関わる諸行事を実施し、学校応援団ボランティアの積極的に活用する。PTAと連携し、周年に係る取り組みを進め、情報発信を継続する。</p>	<p>○学校運営協議会・民生委員との懇談会を実施し、学校・地域の情報を共有すると共に、地域と教職員の関係づくりを進める機会とすることができた。PTA、周年記念実行委員会と連携を図り、児童委員会も関わりながら開校70周年に係る諸行事を円滑に実施することができた。保護者・地域の協力に係る評価は95%、学校の情報発信に係る評価は97%達成。</p>	A	<p>○保護者・地域の思いと教職員の働き方の両立を図りながら、連携協力の関係づくりを進めること。学校公開日を保護者・地域と教職員との関係づくりの機会としていく。</p>
教職員の資質向上	<p>○全ての教職員が、個や集団を適切に指導できる授業力・生徒指導力を高めること、そのための学び合いを生むことが必要である。</p> <p>□心のゆとりを大切に、事故防止への意識を高くもち、いつでも適切な言動がとれる教職員となる必要がある。</p>	<p>○全教職員で校内研修、委嘱発表に向けて取り組み、授業力・指導力を磨き合う。</p> <p>□計画的・短時間の倫理確立研修を継続し、自分事としての意識を高める。時間外在校時間を可視化しワークライフバランスの啓発を継続する。</p> <p>□計画的・短時間の倫理確立研修を継続し、自分事としての意識を高める。時間外在校時間を可視化しワークライフバランスの啓発を継続する。</p>	<p>○校内研修と各自の教科等指導の目標をリンクさせ、校内研修への能動的な参加意識を高める。日常参観とフィードバック、経験に応じた研修の奨励を行う。</p> <p>□計画的・短時間の倫理確立研修を継続し、自分事としての意識を高める。時間外在校時間を可視化しワークライフバランスの啓発を継続する。</p>	<p>○校内研修の推進と授業実践に生かすことの教職員評価は、肯定的回答が100%。研究授業の他、学年・ブロック等で授業を見合い、授業づくりと指導力向上に向けて取り組んだ。</p> <p>□教職員は、倫理確立研修に真摯に臨み、服務規律を守り事故防止に努めるとともに、互いに助け合うことができた。事故の未然防止と長期病休者ゼロを達成。</p>	B	<p>○範となる教職員と学年を問わず適切に指導できる教職員集団の育成。学級経営、生徒指導、教科指導における目指す教職員像とモデル教職員、具体的目標をもつことをすすめて、学び合いの場を作る。</p> <p>A</p> <p>□個々の教職員の特性に応じた注意喚起と、互いの言動に注意し合い助け合える教職員集団づくりを進める。</p>
施設・設備等の管理	<p>○安心・安全で美しい、潤いがある教育環境を作り続けなければならない。</p>	<p>○施設設備の瑕疵による事故ゼロと学習環境における保護者・地域評価85%を達成する。</p>	<p>○安全点検及び施設設備の利用・管理における教職員の意識を高める働きかけを継続する。確実な安全点検と迅速な修理改善対応を行う。校内壁繕、学びに係る美しい掲示を計画的に進める。定期的な花の植え替えを行い、花が咲く環境を維持する。</p>	<p>○施設設備の瑕疵による事故はゼロ。学習環境における保護者評価は98%で目標を達成した。事故防止に向けた安全点検と迅速な修繕、学びの環境づくりを進める上での計画的修繕と整備、掲示の更新を行うことができた。</p>	A	<p>○学級数増加に伴う教室の不足に応じていくこと。教室配置案について教職員の声を集め、長期休業を活用し、特別教室を教室へ転用する修繕と職員作業を実施する。引き続き予算執行の計画を立て、美しさ・使いやすさにつながる修繕を行う。</p>

学校関係者評価	
※実施日	令和5年2月17日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
・働き方改革も大事であるが、子供が大事である。子供を中心とした行事等の実施について話をしたい。	
・「授業が分かる」91%はよくできているが、分からない9%の子供たちに対しどのようにしていくか。学習のつまづきは今後に影響する。ここをしっかりと行ってほしい。 ・身につけるべき学習内容をしっかりと身につけて次の学年へ向かえるよう、年度末のまとめをしっかりと行ってほしい。	
・飯仲フェスティバルや70周年を通して、教職員との距離が近くなった。教職員個々の特技や個性が見えてよかった。	
・教職員はよく頑張っているが、授業参観では一部しか見えず、よく分からないところがある。教職員の研修の様子(授業)が見られるとよい。	
・体育館の用具庫に雑然さがある。後片付けがしやすいように、収納場所を明確にして整頓できるようにするとよい、	